

記入例

交付申請書（簡易耐震改修工事費補助）

様式第1号（第7条関係）

受付窓口へ提出する日付を記入

補助金交付申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

多可町長様

郵便番号も忘れずに記入

(申請者) (〒650-8567)

住所 神戸市中央区下山手通5-10-1

~~団体名~~

代表者名 兵庫 太郎

(上記代理人) (〒650-8567)

住所 神戸市中央区下山手通〇丁目〇番〇号

上記代理人 (株)元町建築設計事務所

建築 一郎

(連絡先の電話番号 078-〇〇〇-〇〇〇〇)

(連絡先のFAX番号 078-〇〇〇-〇〇〇〇)

本人申請の場合は記入なし。代理人
が法人に勤務している場合でも代
理人の個人印（認印）を押印

印

印

申請年度に注意

収支予算書等との整合

平成〇〇年度において、多可町住まいの耐震化促進事業（簡易耐震改修工事費補助）を下記のとおり実施したいので、補助金 500,000 円を交付願いたく補助金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1. 事業の内容及び経費区分（別記）

2. 事業の着手年月日 平成〇〇年□□月□□日（予定）

事業の完了年月日 平成〇〇年△△月△△日（予定）

工事業者との契約予定日を記入

※交付申請日より後の日付

※契約は交付決定日以降に行う必要が
あります

工事代金の

支払予定日を記入

3. 添付書類

(1) 様式第耐震簡1号（耐震改修住宅概要書）

(2) 住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類で、次の各号のいずれかを添付

・住宅の建築時の建築確認通知書又は検査済証

・住宅の登記事項証明書

・住宅の固定資産課税台帳登録証明（建築年月が記載されたもの）

・その他住宅の所有者、建築年月を証明する書類

(3) 所得証明書（写し）（最新年度で、発行から6ヶ月以内）

(4) 完納（納税）証明書（写し）（発行から1ヶ月以内）

(5) 付近見取図（方位、道路及び目標となる地物を明示したもの）

(6) 耐震改修工事に係る建築確認済証の写し（改修工事に建築確認申請が必要な場合のみ）

(7) 改修工事を実施する事業者の兵庫県「住宅改修事業の適正化に関する条例」に基づく住宅改修業者登録制度による登録証の写し

(8) 様式第耐震5-1号（耐震改修工事実績公表同意書）

(9) 誓約書

(10) 委任状（代理人が申請手続を行う場合）

別 記

収 支 予 算 書

1 収入の部

科目	予算額	摘要
補助金	500,000円	
自己資金	850,000円	
計	1,350,000円	

収入及び支出の合計欄と耐震改修工事費は、補助対象工事費をご記入下さい。

2 支出の部

科目	予算額	摘要
耐震改修工事費	1,350,000円	全体見積額 1,950,000円
計	1,350,000円	

補助対象外工事も含めた額

(注) 収支の計はそれぞれ一致する。

(注) 予算額は、補助対象となる額を記入すること。

(注) 支出の部の摘要欄には補助対象外も含めた額（契約額）を記入すること。

(注) 業者からのキャッシュバックやクーポン券等の実質的な値引き額は補助対象外となる。

耐震改修工事住宅概要書（個表）

住宅の名称	兵庫 太郎 様邸		所得証明書で収入が一定額以下、兵庫県民かどうかを確認します※2
住宅の所在地（地番）	神戸市中央区下山手通5丁目10番1号		1 住所と同一 2 住所と別
住宅の所有者	氏名	兵庫 太郎	証明書と整合させてください※1
	住所	神戸市中央区下山手通5-10-1 TEL 078-341-7711	
建築確認年月日	昭和53年 4月 5日 第 1234号 ・ 不明		すべて備えていない場合は補助対象外です
検査済証	昭和54年 3月 29日 第 6789号 ・ 不明		
建築年月	昭和54年 3月頃竣工		
形態種別	1 戸建住宅		50%以上の場合は補助対象外です
規模 改修前：上段（ ）書き 改修後：下段	地上 (2) 階 地下 (-) 階 塔屋 (-) 階		
	建築面積 (81.15) m ²	延べ面積 (110.00) m ²	
設備要件	1 居室 2 台所 3 トイレ 4 出入口		
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積 45.00 m ²	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合 40.9%	
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ()		評点0.7未満である必要があります
改修前における耐震診断結果	改修前 0.49 点 ・ 未診断 対象は、評点が0.7未満と診断されたものに限る)		
耐震改修工事（補助対象額）	耐震改修計画策定費補助を受けている場合は「耐震診断」「耐震改修計画策定」は0円になります。	50,000円	
	耐震改修計画策定費	100,000円	
	耐震改修工事（見込）	1,200,000円	
	耐震改修工事（見込）額が不明な場合は申請者が予定している予算又は「補助対象額は50万円以上」と記入してください	1,350,000円	

添付書類
・店舗等の部分

店舗等の部分の床面積の割合がわか

50万円以上である必要があります。

※1 所有者、建築年の確認について
登記簿謄本の写し、固定資産税台帳登録証明、建築確認通知書又は検査済証の写し等で確認を行います。

※2 申請者の収入確認について
市役所・町役場が発行する、最新年度の所得証明書で確認を行います。
(収入要件：所有者の所得が1200万円以下)

耐震改修工事実績公表同意書

多可町長様

工事実施業者が記入・押印してください。

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇号

所在地 神戸市中央区雲井通〇-〇

会社名 (株)山手工務店

代表者名 山手次郎

印

下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

記

1 業者について

住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先 (TEL)、実施件数

2 工事内容について

住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所(市町名のみ)、補助種別、建て方、構造、築年数、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷(改修後評点-改修前評点)

設計確認書

多可町長様

建築士の氏名・押印、
建築士事務所名等を記入

耐震診断者氏名 建築 一郎
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号
建築士事務所名 (株)元町建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第98765号

印

平成〇〇年〇〇月〇〇日付〇〇〇第 1234 号をもって交付決定のあった耐震改修に要する経費等については、下記のとおり補助要件を満たしていることを確認しました。

記

診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入

1. 設計内容

1 住宅の名称	兵庫 太郎 邸
所在地	〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号
2 耐震診断の方法	「2012年改訂版本造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における耐震診断結果	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階X方向0.49、Y方向0.72となっており、倒壊する可能性が高い。
評点	0.49
4 改修後における耐震診断結果	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方向とも0.7を上回り、耐震性能の向上を図る。
評点	0.75
	(具体的な補強方法) (1) 耐震壁(モイスかべつよし)をバランスよく追加、増設する。 (2) 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
5 備考	

改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

2. 補助対象経費

区分	費用	概要
補助対象経費	耐震診断費用	50,000円
	計画策定費用	100,000円
	耐震改修工事費用	1,200,000円 耐力壁の追加、屋根の軽量化
	計	1,350,000円
補助対象外経費	600,000円	
総費用	1,950,000円	

添付資料

- チェックリスト
- 図面
- 設計計算書
- 見積書(補助対象経費と補助対象外経費が確認できるもの)

別紙チェックリスト

ひょうご住まいの耐震化促進事業（簡易耐震改修工事費補助）チェックリスト

※耐震補強設計を行った建築士の方が記入してください

以下のとおり当該申請書について適切に作成されていることを確認しました。	
設計者氏名	建築 一郎 (印) (一級) 建築士 (大臣) 登録第 4 3 2 1 0 号
建築士事務所名	(株) 元町建築設計事務所 (兵庫県) 知事登録第 9 8 7 6 5 号
住宅の所有者	兵庫 太郎
住宅の所在地	神戸市中央区下山手通 5 丁目 1 0 番 1 号

【1】補強設計の適性チェック

(木造で「2012年改訂版 木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法の場合)

YES 又は NO に○を記入してください。該当しない場合は-を記入してください。

項目	確認内容及び数値等記入			
		YES	NO	
(1) 診断対象部分	昭和 56 年 6 月 1 日以降の増築部分が構造的に独立していることを確認した	-		
	建築物全体を耐震診断の対象とした	○		
(2) 改修前の評点	改修前の評点が 0.7 未満である	○		
(3) 改修後の評点	改修後の評点が 0.7 以上である	○		
(4) 耐震診断方法 (改修後)	次のア～ウいずれかに該当する (○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 国土交通省住宅局建築指導課監修「木造住宅の耐震診断と補強方法」又は一般財団法人日本建築防災協会発行「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法もしくは精密診断法 イ 建築基準法施行令第3章第8節に規定する構造計算による耐震診断 ウ 上記ア・イに掲げる方法と同等と認められる耐震診断耐震診断方法 ()	○		
(5) 延べ面積	耐震改修工事住宅概要書 (様式第耐震定第 1 号) とほぼ同じである 交付申請時 (110.00) m ² ≒ 今回診断面積 (110.00) m ²	○		
(6) 適用範囲	丸太組工法、旧 38 条認定、型式適合認定のいずれにも該当していない	○		
(7) モデル化	壁配置、柱スパン、各室形状等が構造図や診断モデルと整合している	○		
(8) 構造形式	平面的混構造ではない木造住宅である	○		
(9) 荷重の割増し	多雪区域なので割増しを行った 割増係数 (倍)	-		
(10) 地盤	地盤災害の可能性の有無を判断するために建物周辺の地形・地盤を調査した	○		
(11) 短辺割増し				
	・簡便法の場合	短辺の長さが 4.0m 未満なので 1.13 倍とした	○	
	・精算法の場合	短辺の長さが 6.0m 未満であり		
		ア 4.0m 未満なので 1.3 倍とした	-	
	イ 4.0m 以上 6.0m 未満なので 1.15 倍とした	○		
(12) 接合部低減係数				
		低減係数は、接合部 I ~ 接合部 IV、基礎 I ~ 基礎 III の組合せを考慮し適切に算出した	○	
	・接合部 I の場合 のみの確認事項	金物を平成 12 年建設省告示 1460 号二の表から選定し妥当性を確認した	-	
		金物を N 値計算により選定し換算 N 値計算書の添付、妥当性を確認した	○	
金物の種類の妥当性を確認するとともに、図面に明記した		○		

項目	確認内容及び数値等記入	YES	NO
(13) 耐力算定用面積	庇・バルコニー等の面積の加算は適切である	○	
(14) 保有耐力	強さ $P = P_w + P_e$ の加算は適切である (P_w : 壁の耐力、 P_e : その他の耐震要素の耐力)	○	
(15) 壁強さ倍率	壁強さ倍率は二重加算していない	○	
	筋交いと合板の壁強度の合計が 10kN/m を超える場合は 10kN/m とした	○	
(16) 壁長さ	筋交いの場合は 90 cm 以上、面材の場合は 60 cm 以上のみを計測した	○	
(17) 配置低減	耐力要素の配置、剛性率や偏心率等の状況に応じた適切な低減を行った	○	
(18) 劣化事象	劣化事象が認められたので係数の低減を行った	○	
(19) 上部構造評点	各階・各方向 (X・Y) について、保有する耐力を必要耐力で除した値を算出し、その最小値を上部構造評点とした	○	
(20) 基礎	現況及び計画の基礎の状況が計算書と整合していることを確認した	—	

【2】補助対象工事費の適性チェック

※住宅の耐震性能の向上のために行う工事は補助対象となりますが、単なるリフォーム工事は補助対象外です。
ただし、下表に示すとおり、一部は附帯工事として補助対象となります。

項目	確認内容及び数値等記入	YES	NO
(1) 本体工事の内容	以下のア～カ以外の経費が含まれていないことを確認した ア 基礎、柱、はり及び耐力壁の補強工事（地盤改良工事を含む。） イ 屋根を軽量化する工事 ウ 床面の剛性を高める工事 エ 知事が別途認める工法により耐震改修を行い、かつ、上記アと同等の耐震性を有するものと認められるもの オ 減築工事（減築後も設備要件を満たすものに限る） カ 上記の工事に伴い必要となる附帯工事	○	
(2) 附帯工事の内容	① 補強する壁の周囲 91 cm 範囲内の外壁及び耐震改修工事を実施する室に係る、内壁、天井及び床の撤去並びに復旧工事のみが補助対象	○	
	② 附帯工事は、撤去・復旧であり機能向上となっていない	○	
	③ 建具の取り替え工事、配管・配線の切替工事及び既存の備品等（キッチンセット（吊り戸棚を含む。）、洗面化粧台、便器、浴槽、空調機等）の取り外し、再取り付けに係る工事は耐力壁設置工事に伴い必要となるものである	—	
	④ 屋根の下地材及び樋の取り替え工事は屋根の軽量化に伴うものである	○	
	⑤ 屋根の軽量化に伴う樋工事には豎樋を含んでいない	○	
	⑥ 劣化改善工事は耐震改修と同時に行うものである	—	